

吉岡雅哉作品について

「徒弟の時代はとにかく見る、真似をする、繰り返すの毎日だった。この習慣は絵を描く姿勢でも同じだということに気付いた。名画を観て、模倣し、自作を繰り返し描く。そこには何かしらの規則性があることもわかった。画布以外に、パネルに描いた絵に僕は執着があるようだ。パネル画には絵型が図案化されていて、それを変則的に画布に転用する。大体、同じような絵柄が何枚も存在している」

—吉岡雅哉

代々続く宮大工の家に生まれ育った吉岡雅哉は、10代で進んだ大工職人の道と並行して、絵画を制作してきました。その生活は40代になった現在も続いています。大工見習いが親方の下で職人の技を見て学ぶように、絵の描き方は名画を模写することで学んだといいます。絵描きが絵師と呼ばれる職人であった時代がそう遠い昔の話でないことを思えば、近代化以前の絵描きの伝統的な成り立ちを、吉岡は受け継いでいたのかもしれません。

大工職人は、想像する生き物だと吉岡はいいます。大工が作る空間というのは、人が住むことになる空間であり、やがて営まれる様々な暮らしの様子を想像しながら、大工は家を建てるのだということです。この習性は、吉岡の絵画にも現れているように見えます。10代で様々な絵画様式を習得した吉岡は20代になると、現代性と民俗性が入り交じる田舎の景色を絵に描くようになります。それはどこにでもありそうな景色ですが、そこに描かれる人々は、目の前の日常が一瞬で非日常に変わったかのように、猥雑で、暴力的で、開放的で、ときに繊細な、本能むき出しの姿となり、様々な行為に及んでいます。

吉岡が描く景色は私たちにとっても身近なもので、例えばコンビニの景色は、20年前から現在も描き続けるモチーフの一つです。2008年に東京都が主催した公募展「トーキョーワンダーウォール」では、コンビニの前で性交に及ぶ男女とその様子を見ている男女の小学生を描いた作品「入学式」が、「現代社会の持つ負の要素」を描いた作品との評から入賞を果たします。しかし後に開催された都庁個展で、「入学式」は卑猥なイメージだから展示することはできないと言われ、受賞作にも関わらず展示から外されるという事態に陥りました。そ

の顛末はまさに、作品が表象しているイメージというよりも、作品が鏡になり「現代社会の持つ負の要素」を映し出したということであり、受賞作品が受賞作品展から外されるとい
う、まるで想像上の出来事が現実にあった瞬間でした。

都庁個展で吉岡が受賞作の代替作品として提出した「床上手」は、無人の床の間の絵でした。本作はその後、長らくアトリエで保管された状態でしたが、2024年にみんなのギャラリーで開催した個展「来し方行く末 Season 2」で15年ぶりに展示された後、紋℃コレクションに収蔵されました。（収蔵先は奇しくも、都庁と同じ新宿でした）

無人の床の間は、受賞作を知っていた人たちからすれば、存在の形跡を想像させる絵画でした。吉岡が2010年代から描き続けるコンビニの風景画シリーズ「コンビニ画五十六景」もまた、人々の描写はほとんどないながらも、生活の気配を感じさせる絵です。どこにでもありそうなその景色は、何かが起こる前なのか、それとも後の光景なのか、どちらの可能性も秘めた作品群であり、私たちの日常にも特に結び付きやすいイメージです。2025年の年末に東京・代官山の大規模商業施設で予定している展示では、コンビニ画が国内外の人々の目に触れることで、かつての西洋における浮世絵の発見に通じる出会いが期待されます。

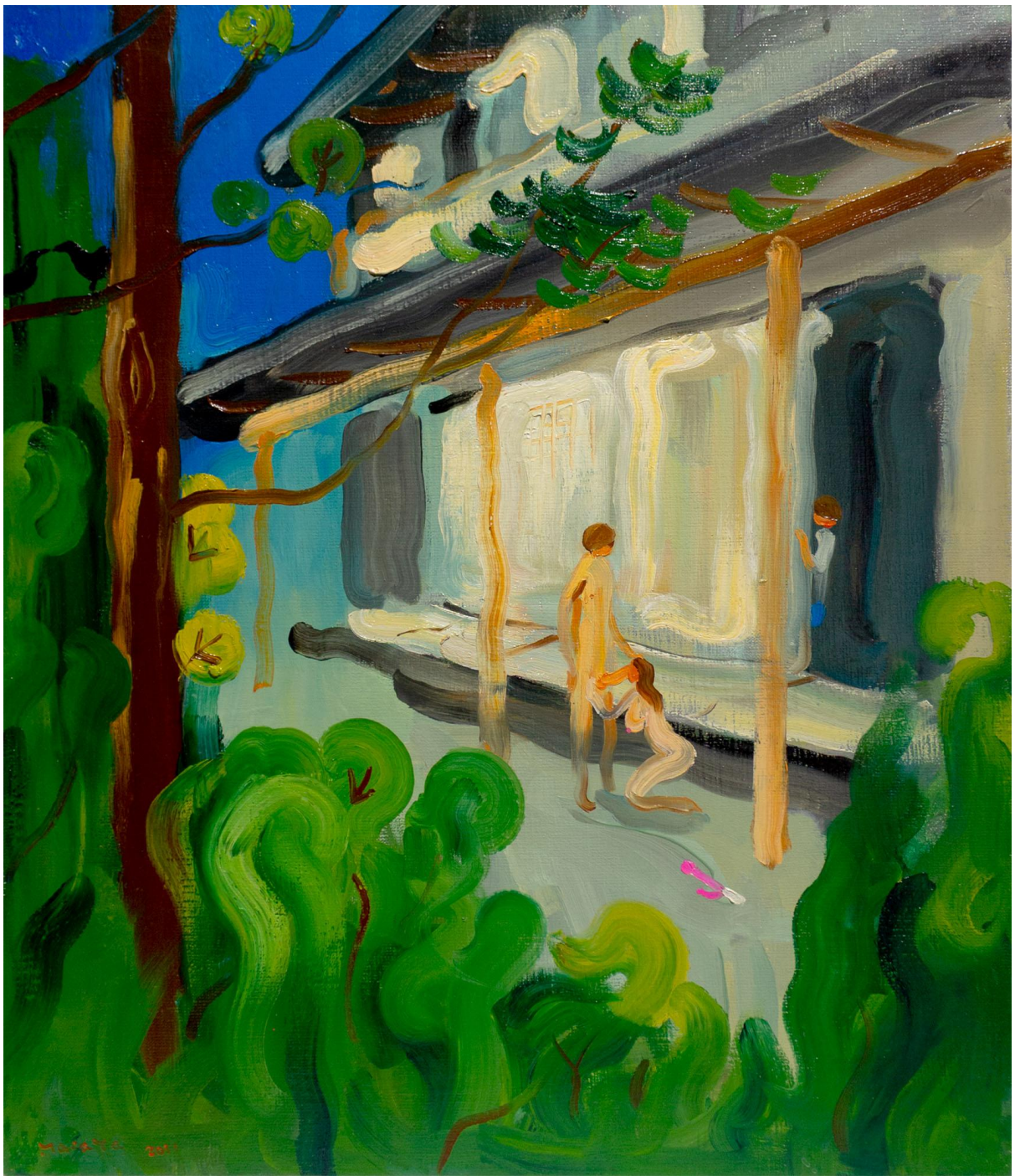
吉岡の絵を見て私たちは、日常でそんなこと起こるはずがないと思いながら、実際には日々ニュースで目にする事件・事故についても、それが同じ日常で起きていることをつい忘れてしまいます。一時間後にどこで何をしているか分からない私たちにとって、目の前の景色は常に、何かが起ころうとしているか、何かが起こっていた後のどちらかで、日常とは非日常の狭間にあるほんのわずかな時間なのかもしれません。想像する大工のように目の前の景色を見てみれば、あちらこちらに絵になる景色があって、一度それを見つけたなら、絵に描かない理由はありません。

Text by Yoichi Tamori (Minnano Gallery)



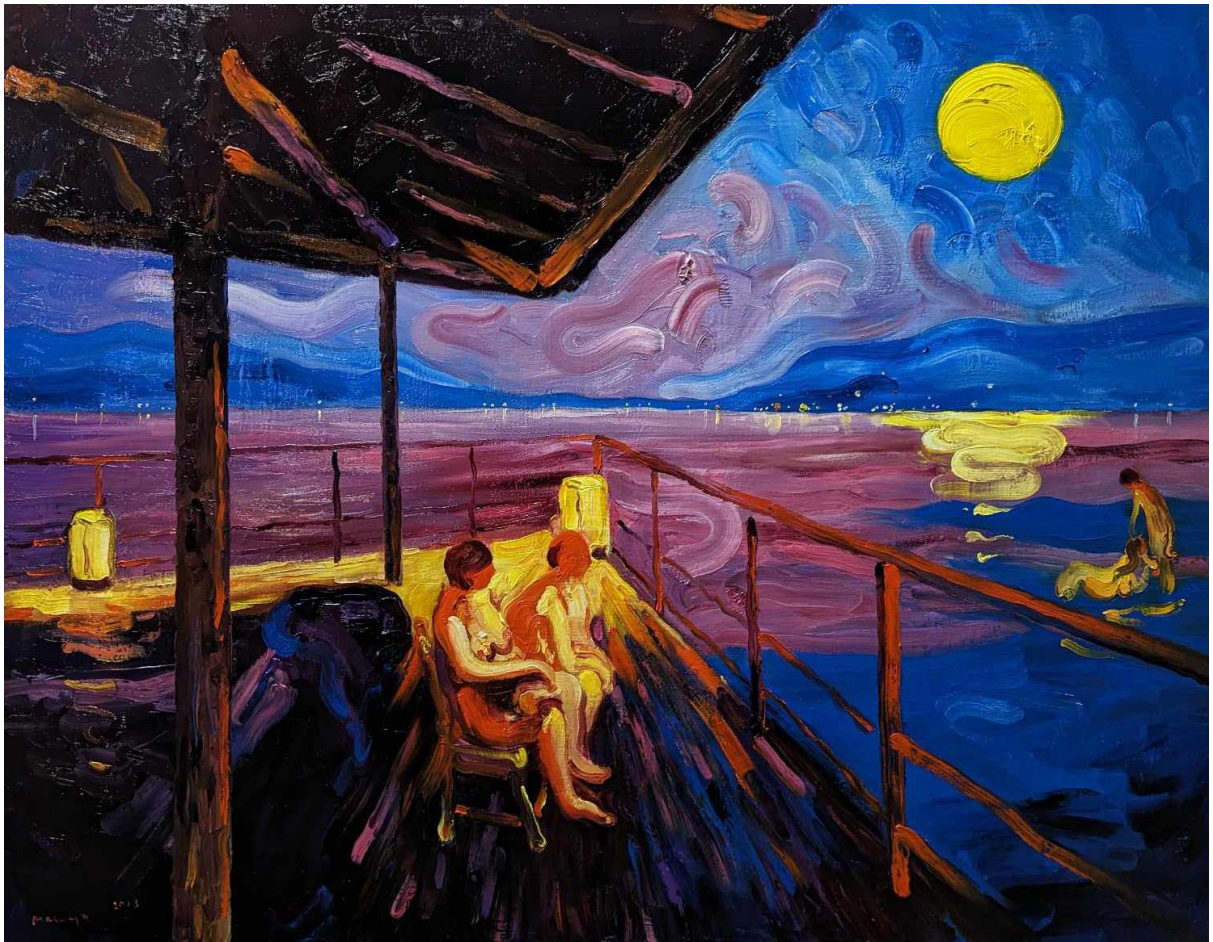
ひかりのあるところへ

2016 / 130.3 x 97 cm / Oil on canvas



庭いじり

2011 / 53 x 45.5 cm / Oil on canvas



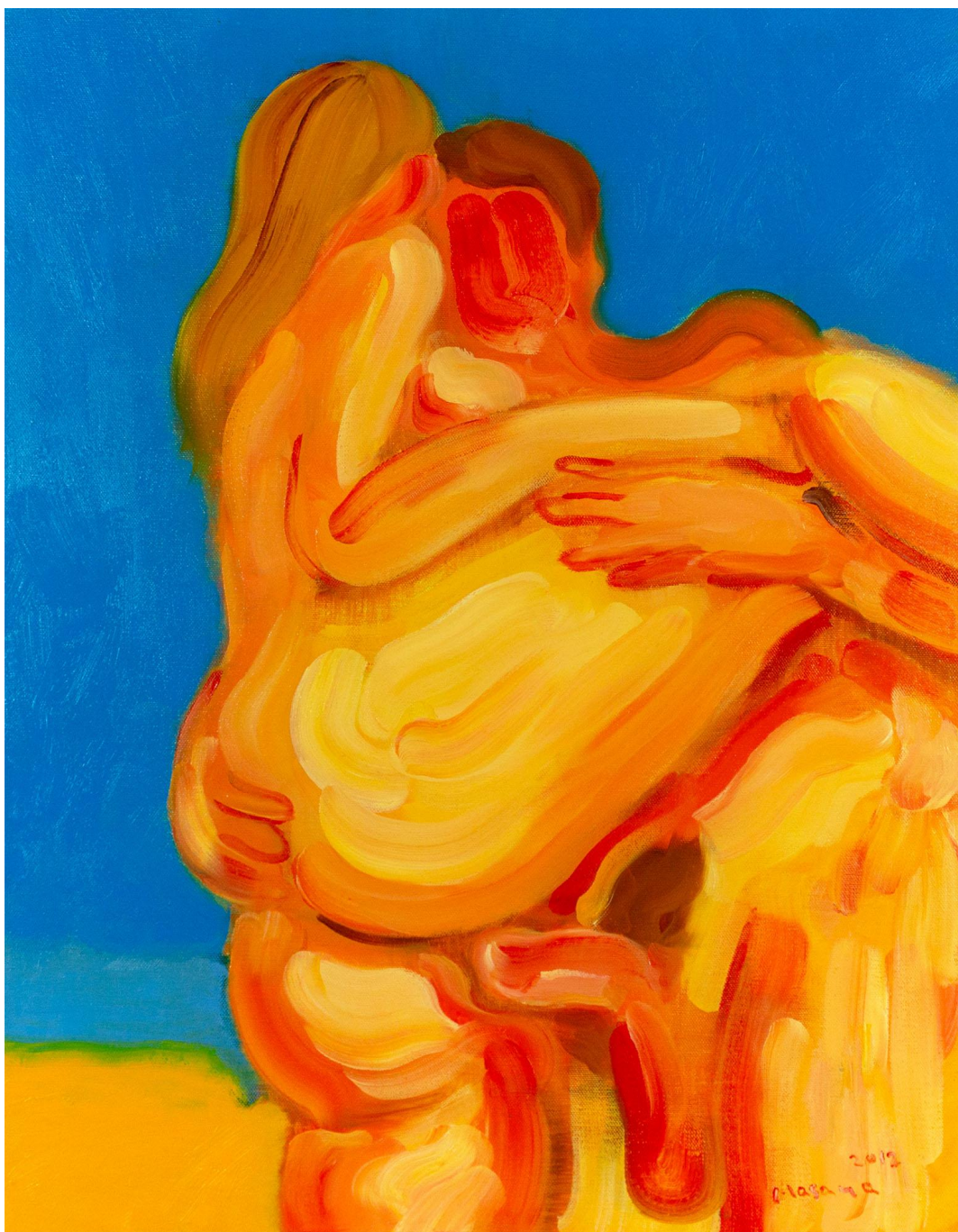
お月見

2023 / 116 x 97 cm / Oil on canvas



思春期

2023 / 33 x 24 cm / Oil on canvas



西海岸

2012 / 53 x 45.5 cm / Oil on canvas



入学式

2008 / 100 x 80 cm / Oil on canvas

トーキョーワンダーウォール賞受賞作品(2008)



床上手

2009 / 91 x 65 cm / Oil on canvas

紋℃コレクション



コンビニ画五十六景（みんなのコンビニ）

2020 / 33 x 24 cm / Oil on canvas